

物流セミナー開く

タンクトラック部会

大ト協タンクトラック部会(佐竹哲司郎部会長)は2月10日、大阪市中央区のスイスホテル南海大阪で物流セミナーを開催し、荷主、会員ら27人が参加した。

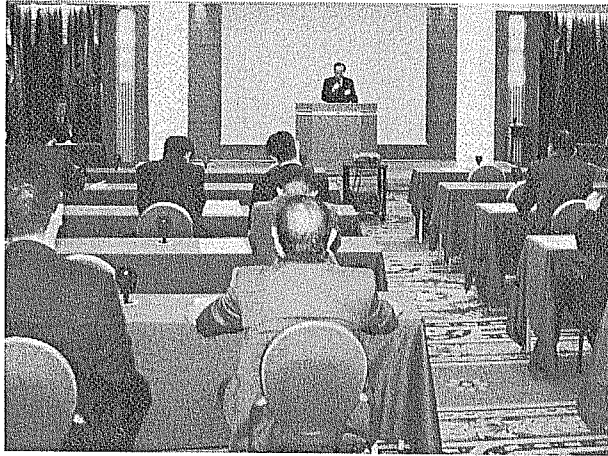
佐竹部会長(佐竹運送)は、「今年は震災の影響が測りしれず、政治・経済情勢とも不安定な中での幕開けとなった。事故防止・安全対策等の問題も多岐にわたる。運転者の高齢化問題、消費税率の引き上げなど、

幾多の問題が山積している現状にある。我々はこれらの諸問題と対峙し、日々努力しているが、それにはパートナーである荷主企業の皆さんの協力が不可欠だ」とあいさつ。

続いて来賓あいさつに立った大阪府危険物安全協会の中村清専務理事は、昨年発生した東日本大震災をはじめとする自然災害について触れ、「災害の予測の難しさと恐ろしさを認識したと

もに、自然災害すべてを想定外といつて済まされないことを痛感した」と述べた。さらに全国の危

険物事故件数が近年で最少となった平成6年に比べ、約2倍で推移している現状には「事故発生要



大ト協タンクトラック部会の物流セミナー

因をさらに検証し、ソフト面、ハード面の両面から事故防止対策に取り組んでいく必要がある」と述べた。

セミナーでは「健康管理と事故防止の実践的進め方」をテーマにNPO法人ヘルスケアネットワーク理事の作本貞子氏による講演が行われた。